



# どうとくのひろば

## 6年生の道徳の授業

主題名：責任を持って

ねらい：【善悪の判断、自律、自由と責任】

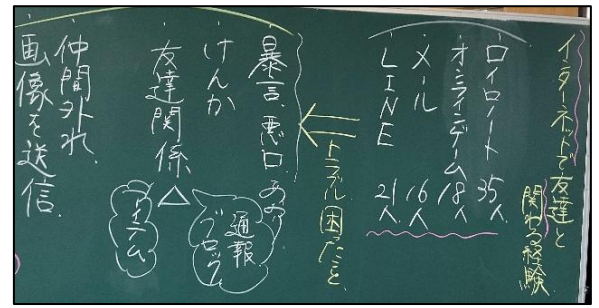
善悪の判断や自由に伴う自己責任についての理解を基に、インターネットと正しく関わるために大切な心について考え、対話することを通して、責任と規律ある行動についての理解を深める。その理解を基に、自分の生き方について考え、責任と規律ある行動を取ろうとする態度を養う。

教材名：「会話のゆくえ」

あらすじ：こうたのクラスは合唱コンクールに向けて練習中。こうたは「もっと上手になりたい」と思い、仲良しグループのスマホチャットで意見を求める。しかし会話は次第に、練習に来ていない友達への悪口へと変わってしまう。こうたが「悪いよ」と止めると、さやに「急い子にならないで」と反発され、会話は途切れる。後味の悪さを抱えたまま、こうたは自分の言動やネット上での関わり方について考え込む。

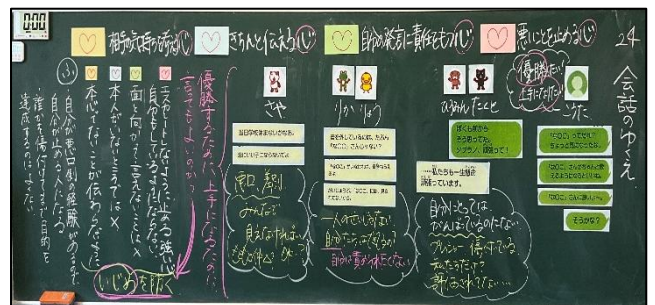
### 授業での具体的な様子

まず、インターネットで他者と関わった経験や、その際にどのような問題があったのかについて聞きました。そして、「SNSでのやり取りで自分の思いが伝わらず、トラブルになったことがある」など困った経験やトラブルになったことを全体で共有し、インターネットで正しく関わる難しさに共感しながらも、正しく関わる大切さに触れ、「インターネットで正しく関わるにはどんな心が大切だろう」という学習問題が設定されました。



教材文を読んだ後、「りか達は自分のせいだとは考えずに人のせいになっていることが問題だと思う。責任をなすりつけている感じがする」「ひろみん達はこれ以上関わりたくないと思って、見て見ぬふりをしたのも問題かもしれない」などと「こうた」「ひろみん・たくと」「りか・りょう」「さや」といった四つの立場について、問題だと感じた行動について話し合っていました。意見を交流する中で、「このまま放っておくと、いじめにつながる深刻な問題だ」など、考えを深めながら、これらの会話はいじめにつながり、未然に止めなければいけなかったことに気付いていきました。そして、これまでの意見を基に、未然に止めるためには「相手の気持ちを考える心」「きちんと伝える心」「自分の発言に責任をもつ心」「悪いことを止める心」が必要だとまとめていきました。

その後、自分だったらどの心を一番大切にしたいのか考え、交流しました。「正しく判断する心を大切にしていきたい。だめだと思ったことを伝えることが、悲しい友達を減らすことにつながると思う」などと交流する中で、どの心も大切に、全部が自分の言葉を見直し、いじめを生まないことにつながっていることに気付いていきました。子供たちの振り返りの一部を紹介します。



- オンラインゲームで友達の悪口を言っているのを止められなかったことがある。つらい思いの人がでないように、相手に合わせるだけでなく、自分の正しいと思うことをはっきりと伝えていきたい。
- ゲームやロイロノートなど、関わり方を考えないといけない時がたくさんあると気付いた。これからも自分の言葉に責任をもちたい。

道徳だよりへのご質問・ご感想

切り取り ( )年 ( )組 児童名 ( )

感想や、お子さんとどのような話をされたかなど、一言でも構いませんので教えていただけると嬉しいです。今後の授業づくりの参考にさせていただきます。

